

# 令和5年度 学校自己評価システムシート (富士見高等学校) w20

目指す学校像	規律ある落ち着いた環境で、生徒一人一人にきめ細やかに指導を行い、地域に開かれ信頼される学校
--------	---

重点目標	1 生徒理解に基づきながら、「明るく挨拶」「身だしなみを整える」「時間を守る」を基礎とした、基本的生活習慣の確立と規範意識の向上を図り、豊かな人間性と社会性を育む。 2 きめ細やかな学習指導・進路指導を行い、確かな学力を育成するとともに、生徒一人一人の進路希望を実現させる。 3 学校行事や部活動等及び地域貢献を通じて、社会の一員としてたくましく生き抜く体力と気力を育む。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	4名
	事務局(教職員)	5名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 2 月 1 日 現 在 )			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
1	[現状] 全教職員の共通理解の下、規範意識の向上と基本的生活習慣の確立に向けた取組みが生徒に浸透している。 [課題] ・ほとんどの生徒は基本的生活習慣は確立している。さらに自ら考え行動できる人物へと成長させる。 ・生徒の人間性、社会性を育て、対人関係スキルを身に付け、特にコミュニケーション能力を向上させる。 ・心や家庭の悩みを抱える生徒の対応を組織的に行い、実りある学校生活を送らせる。	①生徒が基本的生活習慣の基に自律的行動を行う。 ②対人コミュニケーション能力を高める。 ③教育相談の情報の共有を行い、学校全体で生徒を支援する。	①教職員からの一方的な生徒指導にとどまらず、その指導を行う意義を生徒にも考える時間を設ける。 ②学習指導、生徒指導として進路指導を通して生徒の情報収集能力、情報発信能力を高める。 ③スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の活用、外部機関との連携について、教育相談委員会を中心に学校全体で組織的に取り組み、生徒・保護者の教育相談の情報を学校教職員で共有し、生徒を支援していく。	①遅刻者・欠席者・早退者数・問題行動による指導件数・転退学者数の減少。 ②生徒アンケートによる。 ③委員会での検討課題の共有、相談件数に対する情報の共有の割合。	①3学年の遅刻早退数以外は欠席、遅刻早退数は増加である。問題行動の指導件数は微増である。 ②プレゼンテーション能力について7割弱が肯定的である。また、1年生は情報収集能力が8割弱伸びていると答えている。 ②「オープンカレッジ」における成果発表会では、生徒の能力を直接確かめられた。 ③スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーは有効に活用しており、児童相談所、自治体等との連携はしっかりと行っている。しかし、情報の共有の場の設定は改善が必要である。	B	①令和4年度までの直接的な規制から、令和5年度は生徒の気付きによる間接的な指導による変化をさせた。今後は、さらに進める。 ②総合的な探究の時間の更なる活用が必要である。 ③教育相談委員会の活用を進める。
2	[現状] 生徒の取組は受動的であり、自ら学ぶ姿勢が弱い。進路指導部を中心にきめ細やかな指導を実施し、一人一人の進路希望実現を果たしている。 [課題] ・大学クラスを学校全体の取り組みとする。 ・20年後を考えた進路の選択とそれに向けた学習を行う。 ・生徒一人一人の高い志による志望進路実現する。	①大学クラスの新規事業の実施の効果を高める。 ②生徒の学力向上を可視化する。	①新規事業について学年、「大学クラス運営委員会」で連携し検証をしていく。 ②スタディサプリで、生徒の学習状況を可視化し、データに基づいて学習支援を行う。	①生徒アンケート教員アンケート等を行い大学クラスの新規事業の検証結果。 ②可視化して、生徒の学習指導に反映割合。	①大学クラス生徒のアンケートでは8割肯定的である。職員アンケートの実施には至っていないが、新規事業「オープンカレッジ」は、生徒に大きな刺激にはなっている。 ②スタディサプリの活用は、学年での差がある。スタディサプリと定期考査との関連性の可視化を始めたが、まだ、データ不足である。	C	①今年度は1学年1クラスのみであったが、次年度は1学年を2クラスにして、授業展開等の工夫を目指す。 ②教員が負担感を感じない、スタディサプリの活用をさらに進めていく。
		①進路ガイダンスを更に充実させる。 ②生徒の進路実現を支援する。	①ガイダンスなどで自分について考え、面談等を通して、生徒の適性を把握し、生徒にあった進路志望を持たせる。 ②高い志に基づいた進路実現に向け、面談等の支援を行う。	①ガイダンスの実施回数及び生徒アンケート。 ②大学等合格者数増加。医療看護系などへの進学者数増。 ②就職希望者への指導の充実。	①ガイダンスは、例年通りの実施である。 ②量的には変化は少ないが、質的には向上している。 ②時代に即した指導の結果、就職は良好である。	B	①現在のガイダンスのストーリー性を生徒に周知していく。 ②1学年より、大学進学の意味を伝え、志を高く持たせる取り組みを行う。
3	[現状] 昨年度は新型コロナ感染症が落ち着き、学校行事を以前のように戻し始めた。令和5年度生の男女バランスが、均等な方向に向かった。 [課題] ・生徒会本部、部活動生徒を積極的に地域に出ていくように仕向け、生徒の活動を通して、本校の良さを伝える。 ・情報発信を積極的に行い、現在持つ本校の魅力を伝える。 ・2年後の50周年に向けての準備を行う。 ・新型コロナによって、縮小された行事を一歩進んだ形で実施する。 ・学校運営を考え、男女比のバランスが均等になるようにする。	①地域活動に積極的に参加する。 ②本校ホームページ、メディアを活用し、情報発信を行う。 ③次の50年を見据えた50周年事業の検討を行う。	①部活動や近隣学校交流会などの地域交流など、生徒の活動を促進する。 ②情報提供などにより保護者の本校理解度を向上させる。 ③「50周年準備委員会」を中心にその場で終わらない、次の50年につながる事業の検討を行う。	①地域との交流会数及びアンケートによる満足度。 ②学校評価アンケートの結果。 ③委員会の検討内容。	①生徒会役員が中心となり、富士見市の「ふるさと祭り」「子どもフェスティバル」へ参加をした。ふじみ野分館、ららぽーとでのイベントに多数参加している。市議会との交流会は、以前に増して活発なものとなった。 ②情報提供方法は、7割が肯定的である。 ③教育課程の変更、制服の変更等見える変化の検討を進めている。	B	①生徒会役員の更なる自覚を促し、教員の間接的な指導での実施を目指す。 ②ホームページ担当者を明確化し、部署ごとの情報発信を進める。 ③50周年記念事業を早急にまとめる。
		①生徒が自主的に学校行事に取り組む。 ②本校志願者の質と量の向上を促す。	①文化祭をはじめとして、学校行事について生徒の意見を反映させながら、実施していく。 ②新規に立ち上げた「入試広報委員会」を有機的に活用し、広報誌をブラッシュアップし、ホームページの改変など積極的に広報活動を行う。「生徒広報チーム」の創設	①学校行事の実施状況。 ②委員会の検討内容 ②生徒広報チームの活動内容 ②学校説明会・体験入学・個別相談等の参加者数の増加。 ②入学志願者数増加、特に女子の志願者が増加したか。	①新生徒指導部が中心となり、文化祭は生徒が企画をして、生徒の活動が増えた。 ②入試広報委員からの新しい企画が多く、充実した学校説明会となった。また、生徒広報チームも活躍する場を増やし、生徒の姿を前面に出すことができた。学校説明会参加者数は昨年よりも増加している。	A	①今年度の実績を基に、更なる工夫により生徒の主体性を伸ばす。 ②入試広報委員会の学校説明会等のアンケート、参加者等のデータを用い、内容を改善していく。生徒の入試広報チームの更なる組織化を行う。

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和6年2月5日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>遅刻が多いことが寂しい。学校の魅力不足か、家庭の影響かを考え、数字を覆うだけでなく、欠席の原因を把握するための工夫が必要である。</p> <p>いつも同じ場所、同じ時間に生徒を見かけるため、遅刻者は毎日同じ生徒と思われる。具体的な改善策を考えてほしい。</p> <p>オープンカレッジは、自己表現、人とのコミュニケーションの場でもあるので、続けてほしい。</p>	
<p>スタディサプリの利用状況が気になる。スタディサプリの利用と定期考査の結果の送還を取り、生徒に明示し、気付きを期待するよう取り組み始めている。</p> <p>大学クラスは発展段階であり、今後に期待する。</p> <p>進路指導は、生徒にどう仕掛けるかが重要である。何につながるのかストーリー性を持たせるのもよい。</p> <p>進学率の高さは、中学生へのアピールポイントになる。</p>	
<p>学校説明会は、先生から生徒中心になり、数段よくなっていて、12月時点の志願者数増に表れている。</p> <p>文化祭は、同窓会として参加して、生徒の変化を感じた。また、生徒主体という事で雰囲気もよく、モチベーションアップになっている。</p> <p>生徒会の生徒の話を聞き、頑張っていることがよくわかった、今後を期待している。</p> <p>生徒会が行っている、生徒の意見聴取はスマホ等の利用も考えてはどうか。</p> <p>地域交流については積極的な認識を持っている。引き続き交流を図ってもらいたい。</p>	